

製品安全データシート

会 社：日興製薬株式会社

住 所：岐阜県羽島市上中町一色 467 番 1

担当部門：品質管理部

電話番号：(058)-398-2576

FAX 番号：(058)-398-5863

作成・改訂：2011 年 4 月 1 日

整理番号：

製品名	希塩酸	
物質の特定	化学名	塩酸
	含有量	塩化水素 10%
	化学式	HCl
	官報公示整理番号	化審法；対象外 安衛法；対象外 既存化学物質；1-215
	CAS No.	7647-01-0
	TSCA 登録の有無	あり
	EINECS No.	231-595-7
	国連番号	1789
危険有害性の分類	分類の名称	急性毒性物質、腐食性物質
	危険性	可燃性ではないが、色々な金属と接触すると引火性ガス(水素)を生成する。
	有害性	眼や皮膚につくと炎症を起こす。喉、鼻等の粘膜を刺激して咳が出る。多量に吸入すると肺水腫を起こし死亡する。
応急措置	眼に入った場合	直ちに多量の水道水(流水)で15分間以上洗眼し(眼の隅々まで)、速やかに眼科医の手当てを受ける。
	皮膚に付着した場合	汚染された衣服を脱がせ、直ちに多量の水で皮膚を洗い流す。処置後、刺激が続く様であれば医師の手当てを受ける。
	吸入した場合	新鮮な空気の場所に移し安静にし、医師の手当てを受ける。
	飲み込んだ場合	意識がある場合多量の水を飲ませる。直ちに医師の手当てを受ける。
火災時の措置	消火方法	燃えない。 (周辺火災の場合)速やかに容器を安全な場所に移す。 移動不可能な場合には、容器及び周囲に散水して冷却し、容器の破壊を防ぐ。

漏出時の措置	<p>風下の人を退避させる。必要であれば水で濡らした手拭い等で口及び鼻を覆う。漏洩した場合の周辺には、ロープを張る等して人の立入りを禁止する。作業の際には必ず保護具を着用する。風下で作業しない。</p> <p>(少量) 漏洩した液は土砂等に吸着させて取り除くか又はある程度水で徐々に希釈した後、消石灰、ソーダ灰等で中和し、多量の水を用いて洗い流す。</p> <p>(多量) 漏洩した液は土砂等でその流れを止め、これに吸着させるか又は安全な場所に導いて、遠くから徐々に注水してある程度希釈した後、消石灰、ソーダ灰等で中和し、多量の水を用いて洗い流す。発生するガスは霧状の水をかけ吸収させる。この場合濃厚な廃液が河川等に排出されないよう注意する。</p>	
取扱い及び保管上の注意	取扱い	引火性物質との接触をさせない。金属との接触をさせない。保護眼鏡、ゴム手袋、呼吸用保護具を着用して取り扱うことが望ましい。
	保管	可燃性及び還元性物質、強酸化剤、強塩基、強酸、金属から離しておく。換気の良い場所に保管する。
	貯蔵場所及び取扱い場所の付近には、洗眼、手洗い装置を設ける。	
暴露防止措置 (濃塩酸(38%)として)	管理濃度	設定されていない
	許容濃度	日本産業衛生学会 (1992 年度版) (TWA) ; 5 ppm (最大値) 7.5 mg/m ³ (最大値) ACGIH (1991~1992 年度版) (TLV-TWA) ; 5 ppm (天井値)
	設備対策	換気、局所排気
	保護具	呼吸用保護具 ; 酸性ガス用防毒マスクまたは送気マスク 保護眼鏡 ; ゴーグル型 保護手袋 ; ゴム手袋 保護衣 ; 保護衣、ゴム長靴
物理・化学的性質	外観等	無色の液体
	比重	約 1.05 (20℃)
危険性情報	引火点	なし
	発火点	なし
	爆発限界	上限 ; なし 下限 ; なし
	可燃性	なし
	発火性 (自然発火性、水との反応性)	なし
	自己反応性	なし
	爆発性	なし
	粉塵爆発性	なし
	安定性・反応性	金属を侵して水素を発生し、その水素が空気と混合して爆発を起こすことがある。腐食性が強く、大部分の金属を侵す。

有害性情報 (人についての症例、 疫学的情報を含む)	皮膚腐食性	強酸で腐食性がある。																			
	刺激性（皮膚、眼）	眼、呼吸器系粘膜を強く刺激する。35ppmでは、短時間暴露で喉の痛み、咳、窒息感、胸部圧迫をおぼえる。																			
	急性毒性 (50%致死量を含む。 濃塩酸(38%)として)	<table border="0"> <tr> <td>吸 入</td> <td>ヒ ト</td> <td>LCL₀</td> <td>1,300ppm/30M</td> </tr> <tr> <td></td> <td>ラ ッ ト</td> <td>LC₅₀</td> <td>3,124ppm/1H</td> </tr> <tr> <td></td> <td>マ ウ ス</td> <td>LC₅₀</td> <td>2,142ppm/30M</td> </tr> <tr> <td>経 口</td> <td>ウ サ ギ</td> <td>LD₅₀</td> <td>900mg/kg</td> </tr> <tr> <td>腹腔内</td> <td>マ ウ ス</td> <td>LD₅₀</td> <td>40mg/kg</td> </tr> </table>	吸 入	ヒ ト	LCL ₀	1,300ppm/30M		ラ ッ ト	LC ₅₀	3,124ppm/1H		マ ウ ス	LC ₅₀	2,142ppm/30M	経 口	ウ サ ギ	LD ₅₀	900mg/kg	腹腔内	マ ウ ス	LD ₅₀
吸 入	ヒ ト	LCL ₀	1,300ppm/30M																		
	ラ ッ ト	LC ₅₀	3,124ppm/1H																		
	マ ウ ス	LC ₅₀	2,142ppm/30M																		
経 口	ウ サ ギ	LD ₅₀	900mg/kg																		
腹腔内	マ ウ ス	LD ₅₀	40mg/kg																		
環境影響情報	蓄積性	特に記載すべきことなし																			
	魚毒性	特に記載すべきことなし																			
廃棄上の注意	徐々に石灰乳等の攪拌溶液に加え、中和させた後、多量の水で希釈して処理する。																				
輸送上の注意	可燃性及び還元性物質、強酸化剤、強塩基、強酸、金属から離しておく。換気の良い場所に保管する。																				
適用法令	薬事法																				

* この情報は新しい知見に基づき改訂されることがあります。

* ここに記載された情報は、当社の最善の知見に基づくものですが、情報の完全さ、正確さを保証するものではありません。すべての化学品には未知の有害性がありうるため、取扱いには細心の注意が必要です。本品の適正に関する決定は使用者の責任において行って下さい。

記載内容の問い合わせ先

会 社：日興製薬株式会社

担当部門：品質管理部

電話番号：(058)-398-2576

FAX番号：(058)-398-5863